

土壤肥料学会神奈川大会でのシンポジウム

第2部門（土壤有機・無機化学）シンポジウムのテーマ

「陸域生態環境での土壤有機物成分の役割とその機能」

2003年8月22日（大会3日目）午後 於：明治大学生田キャンパス（神奈川県川崎市）

【シンポジウムの目的】

土壤有機物は地上における有機物循環の最大のプールであり、生態系において重要な役割を担っています。土壤有機物の存在形態は分子量、化学組成、化学構造の全ての観点からみて多様かつ複雑であるため、その解明は非常に困難を伴っています。しかし、土壤有機成分に対しても様々な新しい分析手法が適用され、新たな知見が集積されてきました。本シンポジウムでは、土壤有機成分の環境・生態系・作物生産への関わりを、構成成分別に、また様々な存在の場毎に明らかにすることを目的とします。また、1種類の成分あるいは1種類の場にとらわれず、相互の比較もめざします。

コンビーナ

筒木 潔 帯広畜産大学

隅田裕明 日本大学

発表者

青山正和	弘前大学	農耕地生態系における 土壤有機物の動態と機能
進藤晴夫	山口大学	土壤中における 植物炭化物の分布と重要性
宮島 徹	佐賀大学理工学部 (会員外)	環境中の金属化学種の動態に及ぼす 腐植物質の効果
川東正幸	日本大学	土壤生態系における 水溶性有機物の役割
藤嶽暢英	神戸大学	腐植構造特性のバリエーションと 環境・生態系との関わり
総合討論	「土壤有機成分の相互関連と 環境・生態系・作物生産への関わり」	